

普及活動情勢報告（平成26年7月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

J A津野山シシトウ部会目慣らし会



J A津野山シシトウ部会は、6月20日に甘長トウガラシ、7月3日にシシトウの各目慣らし会を開催し、甘長トウガラシ生産者36名、シシトウの生産者3名が参加しました。振興センターからは、収穫最盛期に向けた整枝、かん水及び追肥等について、今後の栽培管理を説明しました。甘長トウガラシでは整枝方法について質問があり、またシシトウでは生産者の熱中症対策を含めた高温期に向けた栽培管理について、適切なかん水・肥培管理の指導しました。今後もシシトウや甘長トウガラシの安定生産に向け、部会活動を支援します。

J A土佐くろしおミョウガ部会が2回目の目慣らし会を開催



J A土佐くろしおの夏場のミョウガ出荷に向け、大間・浦ノ内・上ノ加江の各集出荷場において「出荷目慣らし会」が6月24日から30日にかけて計8回開催され、延べ215戸の農家が参加しました。会場では「環境・安全点検シート」にその場で記入して、日々の栽培から荷造り出荷までの作業について自己点検をしてもらいました。また、水やけ症の昨年の試験状況や今年の試験計画について情報提供を行いました。

今後の高温期の出荷で腐敗等を出さないよう対策を確認しました。

J A土佐くろしおオクラ目慣らし会開催



オクラ部会の目慣らし会が6月23、24、25日に開催され延べ15名の参加がありました。

出荷場3ヶ所（浦ノ内、大間、久礼）でオクラの販売単価の報告後、規格外の果実条件、農薬使用時の注意点について再確認しました。

参加農家からは、灰色かび病の適正防除について質問があり、農薬一覧を示しながら指導を行いました。

今後、出荷が本格化する露地物の安定出荷に向けた栽培指導を引き続き指導していきます。

J A土佐くろしおと関係機関が6次産業化勉強会を開催



J A土佐くろしお管内の6次産業化の可能性を探る勉強会を7月1日に開催し、J A、市役所等の関係者17名が集まりました。J A管内では、ミョウガ、キュウリ、ピーマン等が栽培されており、出荷調整で廃棄される部分や規格外品等の活用を検討しました。振興センターからは、関係する法律、衛生・品質管理、流通販売面でのリスク管理や販売戦略の参考事例等の情報提供を行い、参加者は、取り組む場合のイメージを理解するとともに、ハードルの高さを感じていました。

具体的な動きはまだありませんが、今後、加工グループとのマッチングや一次加工等の可能性を探っていきます。

J A土佐くろしおニラ部会現地検討会



J A土佐くろしおニラ部会は、7月2日に須崎市と中土佐町の2ヶ所で現地検討会を開催し、須崎市で12名、中土佐町では9名の生産者が参加しました。

ニラの良質安定生産にとって重要な株養成期間中の栽培管理について説明し、また、新品種として試作した「ハイパーグリーンベルト」の収量調査結果を報告しました。

新品種の「ハイパーグリーンベルト」の低温伸長性について参加者の関心が高く、低温期での増収を図れないかという期待の声がありました。今後、現地検討会での適期栽培管理指導に加えて、新品種や栽培技術の情報提供を行い、生産者が参加したい活動を目指します。

J A土佐くろしおクジャクアスター研究会目慣らし会



J A土佐くろしおクジャクアスター研究会は7月3日に目慣らし会を開催し、5名の参加がありました。

目慣らし会は毎月1回開催しており、切り前についての意見交換や、その時期に問題となる病害虫への対策について注意喚起をしています。害虫防除については、生産者から薬剤が効かないといった声もよく聞かれます。

今後もJ Aと協力して生産者の栽培技術向上のための支援を行います。

J A津野山ナス部会目慣らし会



J A津野山ナス部会の目慣らし会が7月3日に開催され、20名の生産者が参加しました。米ナス、小ナス生産者ともに、果形、色等に係わる出荷基準について熱心に質問し、確認していました。特に、小ナスは出荷基準が変更され、A品と○A品の境はどこにあるのか等の意見交換が活発に行われました。

その他に、生育診断のポイント、収穫最盛期に係わるかん水や追肥等、今後の栽培管理について説明しました。今後も栽培技術向上に向けて支援を継続します。

J A津野山甘長トウガラシ現地検討会



J A津野山シシトウ部会では、7月14日に甘長トウガラシ現地検討会が開催され、29名の生産者が参加しました。

梅雨明け後の高温乾燥時に発生が多い尻腐れ果の対策として、現地ほ場での寒冷紗の活用事例の紹介や、かん水管理、カルシウム剤の活用による軽減対策を周知しました。生産者にとっては関心の高い問題であり、現地ほ場での対策効果などについて質問がありました。今後も甘長トウガラシの安定生産に向けて部会活動を支援します。

J A土佐くろしお露地・雨よけシシトウ現地検討会



J A土佐くろしお露地・雨よけシシトウ部会の現地検討会が 7 月 16 から 24 日にかけて、神田・吾桑・大谷・安和・葉山・上ノ加江の各地区で開催され延べ 84 名が参加しました。

今年の天候や今後の栽培管理、病虫害防除について資料を基に説明し、整枝・誘引については実演を交えながら現地ほ場で説明を行いました。生産者からは、整枝はどうしたら良いかといった質問や、生産者同士が整枝の仕方を教え合うなど活発な現地検討会となりました。